

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年 7月25日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 2 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	人員用退域モニタNo. 8において、遮光膜に穴が開き、検出器の動作に影響が認められたため、検出器を交換、修理。 なお、検出器の交換は7月21日に実施し、人員用退域モニタNo. 8は正常に動作することを確認した。	G III	7月20日
2	4号機	原子炉建屋クレーン機能確認検査のうちインターロック検査において、燃料キャスクから原子炉建屋搬入口までの指定された範囲内以外では原子炉建屋クレーンを動かさないことを確認する項目で、東側への移動は「運転不可」であるべきところ、「運転可能」であることが認められたため、検査を中断し原因調査、対策検討。 なお、検査開始の位置から「運転可能」を確認した場所へ原子炉建屋クレーンを動かした場合、リミットスイッチの組み合わせ次第では「運転可能」となることが確認できたことから、検査要領書に確認事項、条件を追加し検査再開する。 原子炉建屋クレーン機能確認検査の項目は、インターロック検査の他、動作検査、動力源喪失検査を実施。 また、本検査は第1回の定期事業者検査の項目ではなかったが、検査終了日が変わったことにより検査終了よりも前に原子炉建屋クレーンの点検が終わることから検査を追加することになったものである。	G III	7月22日